

# 戦後70年 知り、語り継ぎ、平和を願う

PC : <https://ilisod001.apsel.jp/odawara-lib/wopc/pc/pages/TopPage.jsp>  
 携帯 : <https://ilisod001.apsel.jp/odawara-lib/wopc/pc/mSrv?dsp=TP>

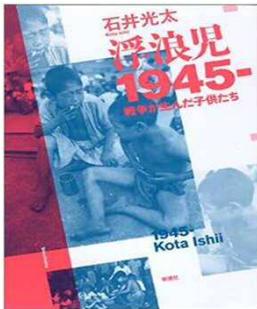
\*\* インターネットから本の予約ができます! \*\*



ここで紹介している本は、すべてかもめ図書館で所蔵している本です  貸出中のときは予約することもできます

戦後70年、人口の8割が戦争を知らない世代となりました。

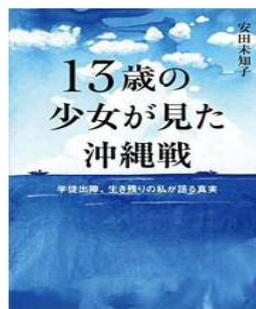
今日の日本は、未来を奪われた子どもたちや女性たちも含めた多くの犠牲の上に成り立っています。  
 尊い平和が続くよう、体験談や文学・芸術のかかわりなどを通して戦争の愚かさ、悲惨さを語り継いでいきましょう。



## 『浮浪児1945-戦争が生んだ子供たち』

石井 光太/著 新潮社

終戦直後、12万人以上の戦災孤児が生まれた日本。その中心、焼け跡の東京に生きた子供たちはどこへ消えたのか? 資料や証言をもとに、浮浪児と呼ばれた子供たちの軌跡を追う。



## 『13歳の少女が見た沖縄戦』

安田 未知子/著 WAVE出版

人間を狂気にする、戦争を憎みます。教師を目指していた13歳の安田未知子は、牛島中将の伝令役として戦争に参加する。83歳の「沖縄のマザーテレサ」が語る、凄惨極まる沖縄戦の真実。

書名	著者名	出版社	請求記号
<b>戦時下の子ども・女性</b>			
戦争の時代の子どもたち 瀬田国民学校五年智組の学級日誌より	吉村 文成	岩波書店	YA S 210.7
戦争と子どもたち	早乙女 勝元	河出書房新社	210.7
写説戦時下の子どもたち	太平洋戦争研究会/編	ビジネス社	210.7
沖縄戦を生きた子どもたち	大田 昌秀	クリエイティブ21	219.9
浮浪児1945-戦争が生んだ子供たち	石井 光太	新潮社	369.4
昭和二十年夏、子供たちが見た日本	梯 久美子	角川書店	916カケハ
15歳の東京大空襲	半藤 一利	筑摩書房	YA S 916/ハンド
満州の星くずと散った子供たちの遺書	増田 昭一	夢工房	916マスタ
子どもたちの8月15日	岩波新書編集部/編	岩波書店	S 916コード
少女たちの戦争	木村 礎	日本経済評論社	916キムラ
13歳の少女が見た沖縄戦 学徒出陣、生き残りの私が語る真実	安田 未知子	WAVE出版	YA 916ヤスタ
戦争がつくる女性像	若桑 みどり	筑摩書房	210.7
母の遺したもの 沖縄・座間味島「集団自決」の新しい事実	宮城 晴美	高文研	219.9
原爆に夫を奪われて 広島農婦たちの証言	神田 三亀男/編	岩波書店	S 369.3
おかあさんの木	大川 悦生/作 箕田 源二郎/絵	ポプラ社	児 913オオカ
母への尋問	大村 麻梨子	広済堂出版	916オオム
女たちの太平洋戦争 1~3	朝日新聞社/編	朝日新聞社	916アサヒ
昭和二十年夏、女たちの戦争	梯 久美子	角川書店	916カケハ
あの人に孫を抱かせたかった	京都橘女子大学後藤靖ゼミナール/編	文理閣	916キヨウ
<b>戦争遺跡・遺産</b>			
日本の戦争遺跡図鑑 そので、何が起こったの?	戦争遺跡保存全国ネットワーク/監修	PHP研究所	児 210
日本の戦跡を見る	安島 太佳由	岩波書店	YA S 210
戦争遺跡から学ぶ	戦争遺跡保存全国ネットワーク/編	岩波書店	YA S 210
しらべる戦争遺跡の事典	十菱 駿武 ほか/編	柏書房	210.6
戦争遺跡を歩く	太平洋戦争研究会/編著	ビジネス社	210.6
図説日本の軍事遺跡	飯田 則夫	河出書房新社	210.6
石碑と銅像で読む近代日本の戦争	歴史教育者協議会/編	高文研	210.6
原爆遺構長崎の記憶	長崎の原爆遺構を記録する会/編	海鳥社	210.7
長崎旧浦上天主堂1945-58:失われた被爆遺産	高原 至/写真 横手 一彦/文	岩波書店	210.7
TOKYO軍事遺跡	飯田 則夫	交通新聞社	213

書名	著者名	出版社	請求記号
<b>文学・芸術と戦争</b>			
戦争を読む	加藤 陽子	勁草書房	210.6
作家と戦争 城山三郎と吉村昭	森 史朗	新潮社	910.2シロヤ
世代を超えて語り継ぎたい戦争文学	澤地 久枝・佐高 信	岩波書店	910.2セダイ
日本人の戦争 作家の日記を読む	ドナルド キーン	文藝春秋	910.2ニホン
作家と戦争 太平洋戦争70年		河出書房新社	910.2サツカ
三島由紀夫と戦後	中央公論編集部/編	中央公論新社	910.2ミシマ
「戦争」が生んだ絵、奪った絵	野見山 暁治・橋 秀文・窪島 誠一郎	新潮社	720.2
ゲルニカの悲劇を越えて	砂盃 富男	沖積舎	720.4
画家と戦争 日本美術史の空白	河田 明久/監修	平凡社	720.8
画家が戦争を記録した	増田 博一	NIKK映像	723.1
ぼくらが出合った戦争	石子 順・ちば てつや・森田 拳次	新日本出版社	726.1
原爆といのち 漫画家たちの戦争	手塚 治虫 ほか	金の星社	726.1
廃墟の残響 戦後漫画の原像	桜井 哲夫	NTT出版	726.1
哀しい歌たち 戦争と歌の記憶	新井 恵美子	マガジンハウス	767.8
言論統制 情報官・鈴木庫三と教育の国防国家	佐藤 卓己	中央公論新社	S 316.1
戦争と放送 史料が語る戦時下情報操作とプロパガンダ	竹山 昭子	社会思想社	699.2
<b>平和を願う</b>			
緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で	小山 靖史	NHK出版	289.1オガタ
武器より一冊の本をください 少女マララ・ユスフザイの祈り	ヴィヴィアナ マツア	金の星社	YA 289.2ユスフ
平和主義とは何か	松元 雅和	中央公論新社	S 319.8
あたりまえの未来を奪うやつ 暴力と闘う平和学	横山 正樹	フェリス女学院大学	S 319.8
死んだらいけない	石川 文洋	日本経済新聞社	319.8
折り鶴に出会った子どもたち	三省堂/編	三省堂	319.8
ノーベル平和賞で世の中がわかる	池上 彰	マガジンハウス	319.8
日本人の戦争観はなぜ「特異」なのか	鯖田 豊之	主婦の友インフォス情報社	319.8
世界を平和にするためのささやかな提案	池澤 春菜 ほか	河出書房新社	YA 319.8
戦争をしなくてすむ世界をつくる30の方法	田中 優 ほか/編	合同出版	319.8
世界をつなぐ歌「ねがい」	三輪 純永	新日本出版社	319.8
イマジン9 想像してごらん、戦争のない世界を。	星川 淳・川崎 哲/文 成瀬 政博/絵	合同出版	323.1
核と日本人 ヒロシマ・ゴジラ・フクシマ	山本 昭宏	中央公論新社	S 539
<b>語りつぎ、伝えていこう</b>			
語りつく戦争 15人の伝言	早乙女 勝元	河出書房新社	209.7
誰も戦争を覚えてくれなかった	古市 憲寿	講談社	209.7
子供たちに伝えたい日本の戦争 あのときなぜ戦ったのか	皿木 喜久	産経新聞出版	210.6
資料が語る戦時下の暮らし 太平洋戦争下の日本 昭和16年～20年	羽島 知之/編著	麻布プロデュース	210.7
高校生が追う戦争の真相	宮下 与兵衛/編	教育史料出版会	210.7
ルポ悼みの列島 あの日、日本のどこかで	室田 元美	社会評論社	210.7
おじいちゃん戦争のことを教えて 孫娘からの質問状	中条 高德	致知出版社	210.7
知っていますか?日本の戦争	久保田 貢	新日本出版社	210.7
あの戦争を伝えたい	東京新聞社会部/編	岩波書店	210.7
731	青木 富貴子	新潮社	210.7
沖縄決戦		学研パブリッシング	210.7
語り伝えよう小田原の戦争体験	戦時下の小田原地方を記録する会/編	戦時下の小田原地方を記録する会	K 210.7
誰も「戦後」を覚えていない	鴨下 信一	文藝春秋	S 210.7
『永遠の0』と日本人	小川 榮太郎	幻冬舎	S 210.7
綾瀬はるか「戦争」を聞く	TBSテレビ『NEWS23』取材班/編	岩波書店	YA S 210.7
沖縄の島守 内務官僚かく戦えり	田村 洋三	中央公論新社	219.9
知覧いのちの物語	鳥濱 明久	さすな出版	289.1トリハ
戦争と福祉についてボくらが考えていること	大田 昌秀 ほか	本の泉社	YA 319.8
経済で読み解く大東亜戦争	上念 司	ベストセラーズ	332
「戦場体験」を受け継ぐということ	遠藤 美幸	高文研	391.2
皇軍兵士の日常生活	一ノ瀬 俊也	講談社	S 392.1
少年時代	安野 光雅	山川出版社	914.6アンノ
戦争を知っていてよかった	曾野 綾子	新潮社	914.6ソノ
半藤一利と宮崎駿の腰ぬけ愛国談義	半藤 一利・宮崎 駿	文藝春秋	B 914.6ハンド
ヒロシマ、遺された九冊の日記帳	大野 允子	ポプラ社	YA 916オオノ
歌われたのは軍歌ではなく心の歌	日野原 重明/監修	新日本出版社	916ウタワ
教師の戦争体験	藤尾 孝治	探究社	916フジオ